

【暮らしのセミナー開催のお知らせ】

「超高齢社会と人口減少時代における地方都市の今後」

～難波利光 下関市立大学教授を囲んで～

「この先いったいどうなるんだろう？」という不安感は・・・ありませんか？
私達の暮らす中津も、わが国が直面する「超高齢社会と人口減少時代」の足音が近づいているような気がします。

身近な事から、身近な場所で、気軽に話題にしてみませんか？

今回は市民の暮らしの視点で「地方都市の地域福祉や地域活性化など」について豊富なフィールドワークと研究をされ、地元でも実際に商店街の活性化に取り組む、「下関市立大学教授 難波 利光氏」と一緒に、私達一人ひとりの「今から・ここから」を考えてみましょう！

開催場所：中津市 新博多町交流センター 2階

開催時間：平成31年3月3日（日） 14:00～15:00

開催内容：参加費 無料 30人程度（当日会場にて受付します）

- ・難波 利光教授からの研究成果と他都市の取り組みなどの実践例の分析(20～30分程度)
- ・質疑応答と意見交換の時間(30～40分程度)



難波 利光 教授

《関連イベント情報》

「気軽にタウンミーティング」開催について

開催日時：平成31年3月3日（日） 12:30～13:30

開催場所：「中津諸町 町家カフェ:コドモヤ」:大分県中津市諸町1丁目

テーマ：「城下町町割り」と昭和商店街に暮らす」

参加人数：20名程度（参加無料）

開催目的と理由について

「暮らし」を考える時に重要な条件は「住居がどのような環境にあるか」だと思います。

わが町中津も旧市街地やその周辺、また旧下毛郡など、その条件は大きく異なっています。

「『暮らしやすさ』とはどういう事なのか」、また高齢化と人口減少問題の中での「快適な町作り」に向けて、「諸町界隈の町割り」と昭和商店街に暮らす」をテーマにしたいと思います。

【難波利光教授の書籍・論文(本報告に関するもの)】

- ①難波利光・坂本毅啓編著『雇用創出と地域－地域福祉・福祉・国際視点からのアプローチ』大学教育出版 2017.7
- ②難波利光編著『地域の持続可能性－下関市からの発信－』学文社 2017.3
- ③高橋和幸・難波利光編著『大学教育とキャリア教育－社会人基礎力をキャリア形成に繋げるために－』五紘社 2015.1
- ④アカデミックツーリズムの実践、－山田方谷の史跡を高梁市・真庭市で学ぶ、現代に生かす山田方谷の思想、山田方谷研究会編、大学教育出版、pp.21～33、2016.11
- ⑤福祉のまちづくりの必要性と可能性－北海道伊達市と福島県会津若松市の事例を基に、難波利光・吉津直樹、山口老年福祉総合研究所年報、第29号、pp.27～34、2018.3

【問合せ先】「中津諸町町家カフェ」開催責任者：川嶋 090 (5747) 8335